

## 加盟団体だより

# アジア保健研修所(AHI)

アジア保健研修所(AHI)の創立者である川原啓美さんが5月22日に逝去され、偲ぶ会を7月20日に行いました。遠くはタイのバンコクや宮古島、そして関東や関西からもご参加いただき、職員もあわせて百名を超える会となりました。

川原さんが死と生について語ったビデオの上映から始まり、研修生からのメッセージ、弔電やお手紙の紹介を経て、集まってくれた皆さんに思い出を語っていただきました。子どもの頃からのおつきあいだった人、教会の青年会で一緒だった人、その昔に手術をしてもらったという人、会ったことはなかったけれども友人から聞いて尊敬していたという人、そんないろいろな立場の方たちが参加されました。

どの方のお話にも、その方と川原さんとの出会いの確かさがありました。

ここではお二人のお話をご紹介します。お一人は中学生の時に川原さんにインタビューをし、高校生の時にスタディツアーパートicipantに参加されました。そういった中で、「僕はそのときから、世界的な視野を持って貧しくされた人のために何かをしようっていう」、川原先生が『わからちあいの人生』の本で書かれていたようなことをずっとやりたいなって思って、今、医学生をしています」と語られました。もうお一人は小学校の教員として、いのちの授業に川原さんを招いてくださいました。授業の最後に川原さんは「生命は死を持って終わるけれど、命は家族や友人の中にしっかりと残っていくのだよ」とお話ししたこと。この言葉に、私たちはみんな、お互いの中にその命を感じたように思いました。

(職員 羽佐田美千代)



研修生に修了証書を手渡す川原さん(右／2013オープンハウス)